

ハワイにおけるチャイルドシート の法規制と罰則



2歳未満の子供は、認可された後向きチャイルドシートに正しく固定させなければなりません。



2~4歳の子供は、認可された後向きまたは前向きチャイルドシートに正しく固定させなければなりません。



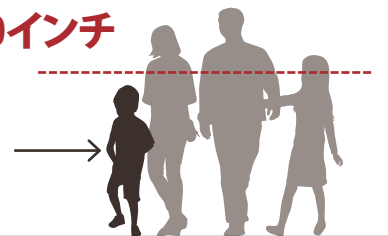
4~10歳までの子供は、認可されたチャイルドシートまたは補助椅子に正しく固定させなければなりません。



7~10歳の子供で身長が4フィート9インチを超える場合は、シートベルトで正しく体を固定させなければなりません。

4フィート9インチ

チャイルドシートは
10歳まで必要

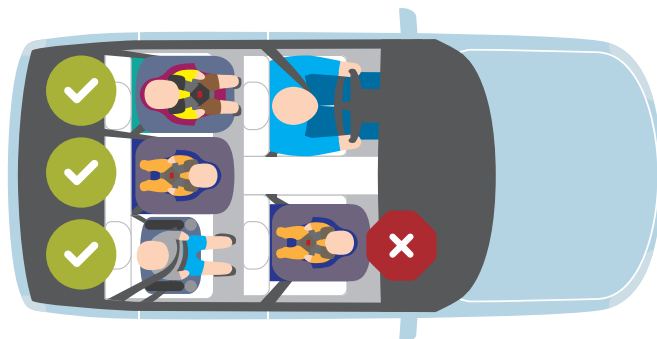


車内ではすべての人がシートベルトを着用しなければなりません。違反者は罰金が課せられ、運転者教育クラスを受講し、追加課徴金を支払わなければなりません。

ハワイ州法 (HRS) 第291-11.5条

安全なチャイルドシート のために:

- ✓ 次のようなチャイルドシートを使用してください。
 - ✓ お子様と車に合ったもの
 - ✓ 常に簡単に使用できるもの
 - ✓ 事故やリコールにあったことがないもの
- ✓ お子様のチャイルドシートと車の説明書をよくお読みください。

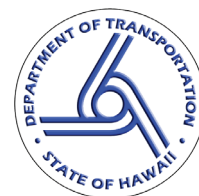


- ✓ エアバッグのある前の座席には、絶対に後ろ向きチャイルドシートを取り付けしないでください。
- ✓ チャイルドシートの最大体重または最大身長になるまでは、お子様を後ろ向きに座らせてください。

相談先



QRコードをスキャンすると、さらに詳しい情報をご覧ください。また、チャイルドシートの取り付けに関するご相談先もご案内しています。



誕生から 補助椅子まで

ハワイの
チャイルドシート法
ガイド



後ろ向き



後ろ向きのみ

後ろ向き
チャイルドシート

1. シートベルトまたは下部のアンカーを使用してチャイルドシートを取り付けます。
2. ハーネスストラップはお子様の肩の位置、または肩より下につけます。
3. 胸のクリップは脇の下のあたりに付け、ストラップにねじれないようにします。
4. しっかりと固定してください!ストラップをつまむことができるようであれば、緩すぎです。

大切なアドバイス

- エアバッグのある前の座席には、**絶対に**後ろ向きチャイルドシートを取り付けけないでください。
- 2歳未満のお子様は、**必ず**後ろ向きのチャイルドシートに乗せてください。

ハーネス付き前向き



前向き
チャイルドシート

1. シートベルトまたは下部のアンカーを使用してチャイルドシートを取り付けます。
2. つなぎ帯を車のアンカーに取り付けます。
3. ハーネスストラップをお子様の肩の位置、または肩より上につけます。
4. 胸のクリップは脇の下のあたりに付け、ストラップにねじれないようにします。
5. しっかりと固定してください!ストラップをつまむことができるようであれば、緩すぎです。

大切なアドバイス

- チャイルドシートの最大体重または最大身長になるまでは、お子様を後ろ向きに座らせてください。
- お子様は、**必ず**2歳以上になってから前向きにして下さい。

補助椅子



背もたれのある
補助椅子

背もたれのない
補助椅子

1. ショルダーベルトは胸を斜めに通します。
2. 膝ベルトが腰または太ももの低い位置にあることを確認します。

大切なアドバイス

- チャイルドシートの最大体重または最大身長になるまでは、お子様をハーネスストラップ付きのチャイルドシートに座らせてください。
- ショルダーベルトを腕の下や背中後ろに**絶対に**装着しないでください。
- お子様が生きている場所に車のヘッドレストがない場合は、背もたれのある補助椅子を使用してください。

チャイルドシートの取り付け

チャイルドシートを取り付ける際には、必ず表示をよく読んで、指示に従ってください。

ステップ1:シートに最適な場所を見つけます。後部座席が最も安全です。

ステップ2:お子様の年齢に合わせて、正しい向きに設置します。

ステップ3:シートベルトまたはラッチを使用します。

ステップ4:前向きチャイルドシートは、つなぎ帯を取り付けて締めます。

ステップ5:チャイルドシートが左右または前後に1インチ以上動かないことを確認します。

